

NPO 法人あったかサポート
2017年春季連続セミナーのご案内（全3回）

「『働き方改革』と
これからの生活保障システムを考える」

国の働き方改革においては、長時間労働の抑制や同一労働同一賃金が議論されています。一方で税制の配偶者控除については、現行の「103万円の壁」を「150万円」にすることで女性の社会進出を図ろうとしています。但し「130万円の壁」という年金や健康保険の被扶養者の範囲については、その壁を打ち破る動きは見えません。

結婚することや家族を持つことが難しくなった時代において、現行の社会保険制度は世帯単位のみで、シングル世帯には冷たい制度になっています。社会保障制度改革の抱える課題とは何か、について学ぶことにしました。



第1回 3月24日（金）18：15～20：15

講師 村上 慎司（立命館大学先端総合学術研究科）

テーマ 「貧困を克服するための社会保障改革とベーシックインカム」

現行の社会保障制度改革に今何が問われているのか？一つの提案であるベーシックインカムとは何か、また立ち消えになっている給付付き税額控除とは何か、を学びながら生活保護受給者の増加など貧困に対し、どのような社会保障改革が有効なのかを考えます。



第2回 3月31日（金）18：15～20：15

講師 高瀬 高明（共同通信・論説編集員）

テーマ 「年金・医療・介護保険制度は今のままで大丈夫か」

少子高齢化社会の進行は、賦課方式の年金・医療・介護など社会保険制度の土台を揺るがしています。選挙を前にして時の政権は、抜本的な改革を避けてきた。そのツケが回って年金切り下げルールが決まった。改めて現行社会保険制度の弱点を問題提起します。



第3回 4月8日（土）18：15～20：15

講師 筒井 淳也（立命館大学産業社会学部）

テーマ 「これからの仕事や家庭—共働き社会の限界とは」

夫が外で働き、妻が家庭を守るというこれまでの「性別役割分業」は、実質的に破たんしつつあります。それでは共働き世帯が万能なのか、と問われればYESとも言えません。今日的な社会的諸条件の下での仕事と家庭のあり方を社会学の立場から見直します。

主催：NPO 法人あったかサポート
問合せ先：電話 075-352-2640
申込方法：FAX 075-352-2646
メール：attaka-support@r6.dion.jp
開始時間：18時15分

会場：ひとまち交流館京都
075-354-8711
京都市下京区河原町5条下がる 東側
参加費：各回 1000円
(3回連続の申込みは2000円)

参加のお申し込みは、下記に必要事項をご記入のうえ、
FAX またはメールでお送り下さい。

FAX : 075-352-2646

E-mail : attaka-support@r6.dion.ne.jp

2017年春季セミナー参加申込用紙

- ・『働き方改革』とこれからの生活保障システムを考える
- ・会場：ひとまち交流館京都（京都市下京区河原町5条下がる 東側）

参加希望箇所に○をつけて下さい

回	第1回	第2回	第3回
日時	3月24日（金） 18：15開始 テーマ：「貧困を克服するための社会保障改革とベーシックインカム」 講師：村上 慎司	3月31日（金） 18：15開始 テーマ：「年金・医療・介護保険制度は今のままで大丈夫か」 講師：高瀬 高明	4月8日（土） 18：15開始 テーマ：「これからの仕事や家庭—共働き社会の限界とは」 講師：筒井 淳也
表示			

※参加費 各回 1000円（3回連続の申込みは2000円）

参加者氏名
住所 〒 -
TEL
E-mail